

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
堀切地区

令和2年 3月

東京都葛飾区

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	まちの賑わい感	%	20.8%	25.3%	25.5%	確定 見込み ●	○	あり なし	26.3%	R1年8月	○	大きな差異はなくフォローアップ確定値でも達成することができた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	堀切菖蒲園のリニューアルオープンに加え、地域が主体的に菖蒲まつりや大風揚げ、RUNフェスタ、堀切フェスタといった様々なイベントに取り組んだことが、確定値でも目標値の達成につながった。
指標2	ユニバーサルデザイン感	%	13.9%	19.8%	4.3%	確定 見込み ●	×	あり なし ●	1.8%	R1年8月	×	ユニバーサルデザインの言葉に係る認識の差が1年では解消しきれなかった。 □ 改善策はそのまま ■ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	公共サインの取付けや菖蒲園の園路拡幅等、事業実施にも関わらず数値が減少した。検証の結果、ユニバーサルデザインの言葉の普及、誰でも利用しやすくなったということをPRしていくことが必要であった。
指標3	堀切菖蒲園来園者数	人	82,493人	91,000人	77,019人	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	78,104人	R1年6月	△	リニューアル工事完了の周知等、施設に関するPRの強化・拡充が必要である。 □ 改善策はそのまま ■ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	リニューアル工事も完了したため、新たに整備されたことを地区内外に広め、地域の方々が親しみやすい小規模なイベントを積み重ねるなど、菖蒲まつり期間のみならず、通年で、多くの人が利用しやすい環境づくりが求められる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	まちの魅力感	点	2.7点	/	6.7点	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	堀切菖蒲園のリニューアルに加えて、ガイドボランティアなどの住民による積極的な活動により、観光で訪れた人の地区に対する印象が良くなった。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	通年でのまちの賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会開催</li> <li>他地区まちづくり会との交流</li> <li>まちあるきの開催</li> <li>まちづくり協議会による街づくりアンケートの実施</li> </ul>	町会や商店会など地域住民が主体となり、まちあるき調査や検討会を行い、街づくりの機運を高めることができた。	街づくりアンケートにおいて、「まちづくりで重要度の高いのは」の設問の回答で「防災性の向上」が最も多い回答だったため、まちの防災性の向上が求められている。
	回遊性の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続した公共サインの整備</li> </ul>	駅から各地点までの案内が明確になり、まちの回遊性が向上した。また、人が多くまちを歩くことで、まちの賑わい感も高めることができた。	今後もサイン整備やまちづくり協議会と連携した魅力スポットづくりの取組を通じ、回遊性の向上を図ることが求められる。
<b>改善策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	通年でのまちの賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>「賑わいのある道づくり」の検討会開催</li> </ul>	堀切地区まちづくり推進協議会が「堀切地区まちづくり戦略(案)」に基づいて、通年での賑わいづくりを目指し、魅力スポットづくりの議論を始めた。	賑わいづくりを進めていくため、堀切地区まちづくり推進協議会や地元商店街などと協働し、街づくりの検討を進める。また、堀切菖蒲園のリニューアルの発信強化が求められる。
	回遊性の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀切地区道路整備基本計画の策定</li> <li>葛飾区無電柱化推進計画の検討開始</li> <li>継続した公共サインの整備</li> </ul>	地元町会や商店会と協働して道路の補修、街路樹の整備、ベンチの更新等を盛り込んだ計画を策定するなど、道路整備を通して愛着のある街づくりの機運が高まった。また、公共サインの整備を引き続き行い、回遊性が向上した。	堀切地区道路整備基本計画に基づいた整備を進め、道路の安全性、回遊性を高める。また、ユニバーサルデザインにも配慮した都市基盤整備を行うことが求められる。
	駅前環境改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀切地区まちづくり戦略(案)の具体化に向けた、(仮称)駅周辺改善整備勉強会の実施</li> <li>荒川橋梁架替事業と連携した街づくり</li> <li>まちづくり協議会による街づくりアンケートの実施</li> </ul>	アンケートの結果、回答のほとんどが駅周辺まちづくりについて「改善の必要性がある」との回答であった。協議会と区で協働して整備方針や取組の進め方の検討を進めた。	歩行者交通の安全性の向上を図る。また、駅前にゆとり空間を作り、快適な空間づくりを図ることが求められる。
	ユニバーサルデザインの普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続した公共サインの整備</li> <li>堀切地区道路整備基本計画の策定</li> </ul>	公共サインの追加整備等を行い、わかりやすい公共サインの整備が進められ、道路整備とも合わせ、堀切菖蒲園から駅までの案内誘導の充実につながった。	アンケート調査の結果からも、全ての人が不便なく使える街づくりは進行しているので、ユニバーサルデザインとしての認知度の向上が求められる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
ユニバーサルデザインの周知	まちづくり協議会、勉強会等の機会をとらえた「ユニバーサルデザイン」の周知	令和2年以降	地域との協働強化
堀切菖蒲園リニューアルのPR	地域の方々が親しみやすい小規模なイベントを積み重ねることで通年の賑わいを生み出し、リニューアルし綺麗に整備された堀切菖蒲園を、区ホームページやまちづくりニュース等でさらにPRし来園者数の増加を狙う。	令和2年以降	地域住民との連携 産官連携の強化
雨の日の堀切菖蒲園の利用促進	雨の日でも来園してもらえる、ソフト的な施策の実施	令和2年以降	